

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博（医）甲第1241号	氏名	石丸 恵子
論文審査担当者		主査教授	兼松 隆之
		副査教授	柴田 義貞
		副査教授	大園 恵幸
論文審査の結果の要旨			
<p>1. 研究の目的 本研究は非侵襲性放射線診断手技であるMRCPとMDCTとで閉塞性黄疸症例の閉塞部位診断と質的診断能について比較したもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2. 研究手法に関する評価 診断には2名の放射線科医によるモニター上の読影実験を行い、結果については適切な統計学的処理を行うことで客観的な評価がなされており、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3. 解析・考察の評価 MDCTは閉塞部位に関してはMRCPと同等の評価が可能であることを示した上で、質的診断でも優れた診断法であることを明らかにし、MDCTの臨床的有用性を証明した。</p>			
<p>以上のように、本論文は閉塞性黄疸症例の診断と治療方針決定の上で重要な情報を提供するものであり、臨床的意義は大きい。よって審査員は全員一致で博士（医学）学位に値するものと判断した。</p>			